

婚活支援事業をより活発に

三宅和広 議員



山形県における未婚率等の状況

		配偶者あり 未婚 死別・離別		
30～34歳	男性	54.0	44.7	1.2
	女性	63.4	31.7	4.9
35～39歳	男性	62.7	34.0	3.4
	女性	79.4	14.8	5.7
40～44歳	男性	65.6	29.5	4.9
	女性	72.6	17.2	10.2
45～49歳	男性	68.3	24.0	7.7
	女性	77.9	9.1	13.0
50～54歳	男性	72.2	20.4	7.4
	女性	77.3	7.0	15.6

(出典：平成27年国勢調査抽出速報集計) (単位：%)

45～54歳の結婚している割合は、男性で約70%、女性で約77%にとどまる

本市では婚活セミナーの開催など様々な婚活支援事業を実施している。今後、さらに事業を充実させるために、例えば「婚活を支援する会」のようなものに、市民からメンバーを募り、市民が中心となり運営する組織を作ってはどうか。そうした組織で婚活パーティーなどを開催していただければ、さらに事業の活性化が図られると思うが、考えを伺いたい。

武田総務部長

現在、婚活イベントは婚活支援団体の方から開催していただいている。また、むらやま広域婚活事業実行委員会でも年に3回、婚活イベントを開催している。そのため、現段階では

市独自に新たな組織を設立することは考えていないが、今後の課題と認識している。当面は、婚活団体の支援や情報発信に取り組んでいきたい。

間伐材を活用しエネルギーの地産地消を

最上町では、間伐材を燃料として沸かしたお湯を町立病院などの冷暖房や給湯に使っている。間伐材を使うことで森林整備が進み、林業の活性化にもつながっている。本市でも間伐材を利用したエネルギーの地産地消を進めることは可能と思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長

間伐などの森林整備は、国・県からの助成を受けて実施することになる。この助成を受けるためには森林組合等が森林経営計画を作成する必要があるため、森林組合等の役割が非常に重要であると認識している。今後の林业振興策については、森林組合等と話し合いながら、どういった振興策が適しているかを調査研究していく必要があると考える。